



インスピレーションになるう
バリー・ラシン

国際ロータリー2018-19年度会長

第2510地区
第11グループ

函館東ロータリークラブ

ロータリーの絆をより深めよう
2018~2019年度 会長 佐藤 美子

会報
2018~2019

第2978回 3月5日(火)

本日の
プログラム

「ガバナー月信・ロータリーの友 朗読」

佐藤 美子 会長・三輪 生治 幹事

次週の
プログラム
3月12日(火)

「未定」

函館青年会議所理事長 小林 周平 氏

- 会長/佐藤美子
- 副会長/森元浩
- 会長エレクト/石畑弘樹
- 幹事/三輪生治
- 副幹事/安保裕一郎

- 例会場/ホテル函館ロイヤル
TEL (0138) 26-8181 (代)
- 例会自/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F
TEL (0138) 23-3870
FAX (0138) 22-2251
- 友好クラブ/長崎東ロータリークラブ

第2977回例会 2019年2月26日(火) 天候 晴

月間テーマ 水と衛生月間

■ロータリーソング 手に手つないで

■司会 佐藤 美子 会長

■ゲスト

地区職業奉仕委員長

玉井 清治 氏 (函館亀田RC)

■ビジター

函館RC 原 一彰 氏

■会長報告

1、2月22日(金) 10・11グループ第4回会長幹事会が開催されました。

2、氏家会員が会社を退職する為、退会する事になりました。

■委員会報告

1、親睦活動委員会：3月2日の麻雀大会の場所が啄木亭より海峡の風に変更になりました。

■幹事報告

1、3月12日(火)午後6時30分より第3回クラブアッセンブリーを開催いたします。また、すでにご案内いたしました、3月19日の例会は、20日(水)に変更し開催いたします。

2、3月5日に理事会が開催されますが、議題をお持ちの委員会は3月1日(金)までに事務局へお知らせ願います。

「これからの職業奉仕」

地区職業奉仕委員長 玉井 清治 氏 (函館亀田RC)

本日は「これからの職業奉仕」についてお話しさせていただきます。

ロータリーの中核的価値観のなかに「多様性」があります。職業人で構成されているロータリークラブは一業種一会員制の考えが原則にありますので、皆、考えが違うのはあたりまえのことで、その中で「人の振り見て我が振りなおす」ことが自己研鑽につながることでしょう。ただ一点すべ

でのロータリアンに共通することが「自分の事業所の永続的な繁栄を願う」であることは間違いありません。ロータリーの職業奉仕とは個人奉仕で「自らの職業をとおして社会に貢献する」ことです。

我々職業人が自らの事業の継続的な発展を願うことは当然です。企業経営によって利益を得ることも当然であり、決して卑しいことではありません。しかし合法的でない方法や道徳的でない方法や、他人から批判を浴びるような方法で一時的に大きな利益をあげたとしても、それは長続きするものではありません。シェルドンは自らの事業を継続的に発展させるための学問的な企業経営の理念と実践方法を考え出して、それをロータリーの職業奉仕理念として提唱したのです。

どういう環境の下にロータリーができたかということ、考えておく必要があります。

ロータリーが設立された当時のシカゴは、極端な資本主義が開花した時期であり、過度の自由競争の下で、法律にさえ触れなければ、どんなことをしてでも、お金を儲けた者が勝者だと言われていた時代でもありました。大都会の中でお互いがライバル同士として、足を引っ張り合いながら死に物狂いで生きていこうと努力していった、凄まじい競争社会でした。そんな中で生活をしているビ



ロータリーの絆をより深めよう

ジネスマンですから、決して、心から打ち解けあった友達など出来るはずありません。

こういう状況の中で、胸襟を開いて何でも相談し語り合える友人を得るため生まれたのがロータリー運動です。仲良くなったついでに、それを取引に利用して、物質的な相互扶助をすれば、お互いに事業が発展するだろうということで、ロータリアン同士の積極的な商取引、それも、原価による相互取引によってロータリアンが栄えていったわけです。

従って、シカゴ・クラブで最初にできた定款には「会員の事業上の利益の増員」と、「親睦の充実」と書かれてあります。

ロータリアンがお互いに相互扶助によって、事業の発展を図っていたわけです。その相互扶助も会員同士が原価で積極的な商取引をして、それを一般の町の人たちに売るわけですから、大きな利益をあげることができたわけです。町の零細業者が集まったロータリーのメンバーが、1-2年のうちにみんな素晴らしい金持ちになっていきました。まさしくロータリーは、自分1人では掻けない背中を、車座になりながらお互いに掻き合う、いわゆるバック・スクランピングの世界というエゴイズムに満ちた出発をしたわけです。

1907年にポール・ハリスがシカゴ・クラブの会長になった時に、大きく方針を変えます。ロータリークラブは素晴らしい組織だから、会員増強を積極的に進めていく。さらに、この素晴らしい組織を全米に広げていく。そして、自分たちだけでいいことをするのではなくて、地域社会全体の奉仕活動を展開することを決めたわけです。

その最初の実践例としてやった活動が、公衆便所の設置運動です。これはシカゴ・クラブがお金を集めて作ったわけではなく、公衆便所を必要とする地域社会のニーズに従って、地域社会の団体を集めて、公衆便所設立委員会を作って、行政と折衝したわけです。

当時のシカゴのループ地区の人たちは、男の人だったら、バーに入って、ビールの1杯でも飲んでトイレを借り、女性なら、百貨店に行って口紅の1本でも買ってトイレを借りるのが普通でしたから、公衆便所設置に反対したのは、百貨店組合とバーのチェーン組織で、場所が決まって、起工式をするまでに2年間もかかり、1909年に、市役所と公立図書館の横に2つのトイレを作ることに成功したのです。ロータリークラブがやった最初の社会奉仕活動が、決して単なる寄付行為でなかったということは、非常に印象的なことです。

そういうことで対社会的な奉仕活動には成功したものの、ロータリアンに対する求心力となる理念を確定するのは難しい作業でした。当時のロータリアンの大部分は、親睦と事業の発展のためにロータリーに入ってきたわけで、そのための具体的手段である物質的相互扶助を廃止したら、ロータリアンになったメリットはなくなるわけです。ポール・ハリスは創始者としての才能はありましたが、残念ながら、理念の提唱には非常に疎かったので、ポスト物質的相互扶助となる新しい考え方の提唱者をスカウトする必要がありました。それがアーサー・フレデリック・シェルドンです。

職業奉仕とは科学的かつ合理的な企業経営方法のことであり、シェルドンの職業奉仕理念に則った企業経営をすれば、継続的に最高の利益が得られることを証明する実践理論でもあります。他の奉仕活動の受益者はロータリアン以外の人たちですが、職業奉仕の受益者はロータリアン自身なのです。そしてそれを端的に示した motto が He profits most who serves best なのです。

尚、職業奉仕の実践は顧客の満足度を最優先した事業経営の方法ですから、当然のこととして高い職業倫理という結果が現れます。しかしそれは職業奉仕を実践した結果に過ぎず、職業倫理高揚を目的とした活動ではありません。

本日はご清聴誠にありがとうございました。

■ニコニコボックス

佐藤美子会長、三輪幹事、黒島会員 玉井委員長、本日よろしくお願ひ致します。

吉川会員 玉井様、本日よろしくお願ひします。

氏家会員 これまでいろいろお世話になりました。

■出席報告

- ・ 2月26日(火) 会員43名中 出席29名(免除1名)
- ・ 2月12日(火) 67.44%

市内他クラブ プログラム

3月 6日(水)	函館北RC	卓	話
3月 7日(木)	函館RC	卓	話
3月 8日(金)	函館五稜郭RC	卓	話
3月11日(月)	函館亀田RC	卓	話

◆ テレフォンサービス 26-3170 ◆

及明ビル管理(株)

小林 眞樹 会員

本通1-5-13 電話 53-6037

くにや司法書士法人

國谷 大輔 会員

堀川町6-15 電話 30-4008